

## 持続型農業生産技術分野この一年

持続型農業生産技術分野長 教授 由比 進

この1年を振り返ると、春から初夏までは暖かく、植物の生育は例年になく早まりました。ところが8月以降は悪天候が続き、日照量がきわめて少ない夏～秋となりました。さらに、台風による強風被害も懸念される中、農場・牧場職員の尽力あって各種生産物の売り上げは例年並みを確保することができました。

従来から、滝沢農場では学内向け実習に加え、教育学部附属特別支援学校、県立みたけ特別支援学校、富士大学からの実習を受け入れてきました。これらに加えて、今年度から新たに岩手県立大学総合政策学部（8名×5回）、盛岡大学栄養科学部（70名）など、外部からの実習受け入れが増加しました。特に東北学院中学からは一度に90名を受け入れ、野菜や果樹の作業体験をしてもらうことができました。この実習は好評だったようで、同中学校からは次年度以降も実施したいとの希望が寄せられています。牧場において、本年度最大の話は、田尻和之さんが技術職員に採用されたことでしょう。新採職員を迎え、さらに子牛価格の好調もあって、本年度はほぼ予定通りの生産額を達

成することができました。

また、8月に上田キャンパスのレストラン賢治で行われた食事会では、農場・牧場から多くの生産物を提供しました。中でも選りすぐりのブルーベリーは好評で、「学内で、こんな素晴らしいものを生産していたのか!!!」と、感嘆の声があがっていました。

さらに、演習林に引き続いて文科省による「教育関係共同利用拠点」認定を目指しましたが、残念ながら認められませんでした。次年度の申請については情勢を見極めながら検討し、農場と牧場の目指す新たな方向性を打ち出していく必要があると考えています。



農場実習 田植えの風景 (5月19日)

## 演習林この1年

循環型森林管理技術分野長 教授 澤口 勇雄

御明神演習林と滝沢演習林は、平成28年8月に文部科学大臣により「教育関係共同利用拠点」として認定されました。平成29年度は、拠点事業実施の実質初年度でした。授業は、公開森林実習として一般公開される2科目と他大とのオーダーメイドで行われる4科目を開講しました。受講生は、岩手県から鹿児島県まで、全国の国公私立の10大学から78名（延べ253名）に及び森林実習の拠点の輪が広がりました。来年度は、東京の私立大学をはじめとし、新規科目の実施が複数予定されており、大幅な規模拡大が見込まれています。

滝沢演習林のアカマツは、平成19年に文化庁によって「ふるさと文化財の森」として設定され、南部赤松としての優れた特性を生かして、文化財修復のための資材の供給を担うことが期待されています。本年度秋、滝沢演習林1林班で伐採された樹齢171～175年のアカマツのうちから、長さ16mの通直な長材を含む約35m<sup>3</sup>が、水戸城大手門・二の丸角櫓（すみやぐら）の復元に使われる梁材用丸太として

提供されました。水戸城大手門復元工事は平成29年度から始まっており、平成31年9月に完成予定です。本案件は、複雑な木材の商慣行の中で、「ふるさと文化財の森」の設定の趣旨に即して、滝沢演習林の南部赤松が文化財修復に提供された事例として、明らかに特定された事例になりました。



梁材用の16mのアカマツ丸太



水戸城大手門復元イメージ

## ● 新任教員の紹介

循環型森林管理技術分野 特任助教 高田 乃倫子

この度、演習林の教育関係共同利用拠点（文部科学省認定）の運営を担当いたします。学生が森林に親しみ、知識を深める機会を広げていく活動に参加でき嬉しく思っております。近年、若い世代で林業、狩猟、Iターンに関心が高い傾向にあり、自然と関わりのある農山村の生活が見直されてきています。その流れの中で、共同利用の実習は学生にとって魅力的なものだと思います。学部を問わず一人でも多くの学生が利用できるよう、先ずは、中山間・都市近郊という特色のある演習林の情報発信の拡大をしたいと考えております。また、他大学の実習で演習林を利用していただくため、日々、外部のニーズを模索し、多様な意見を取り入れながら持続的な運営を行えるように努めてまいります。何卒よろしくお申し上げます。



## 平成29年度 エクステンション活動一覧

### 職業的専門家（経営者・技術者等）を対象とするもの

1) 第14回 森林技術者・森林ボランティアのための森林環境教育グレードアップカレッジ ー森林社会の多様性理解による持続的森林環境管理への誘いー	H29.5/22(月)～5/26(金)
2) 第64回 フォレストテクニカルエクステンション 岩手県森林組合職員初任者研修「森林施業の基本について」	H29.5/26(金)
3) 第65回 フォレストテクニカルエクステンション ー人工林施業プログラム(4)	H29.8/2(水)
4) 第66回 フォレストテクニカルエクステンション 岩手県森林組合職員中級者研修「森林生態の基本と森林施業について」	H29.8/3(木)
5) 第67回 フォレストテクニカルエクステンション ー地域林業支援プログラム(9)	H29.8/23(水)～9/1(金)
6) 第68回 フォレストテクニカルエクステンション ー岩大型作業路普及プログラム(37)	H29.9/12(火)～9/15(金)
7) 第69回 フォレストテクニカルエクステンション ー岩大型作業路普及プログラム(38)	H29.10/2(月)～10/4(水)
8) 第70回 フォレストテクニカルエクステンション ー岩大型作業路普及プログラム(39)	H29.10/23(月)～10/24(火)
9) 第71回 フォレストテクニカルエクステンション ー循環型森林管理技術普及プログラム(13)	H29.10/27(金)
10) 第72回 フォレストテクニカルエクステンション ー岩大型作業路普及プログラム(40)	H29.10/30(月)～10/31(火)

### 一般市民・児童生徒を対象とするもの

1) イーハートブの森と家づくりのフォーラム「植林体験」	H29.4/22(土)
2) 第148回 フィールドセミナー NPOへの森林管理技術講習会	H29.5/29(月)
3) 公開講座 第149回 フィールドセミナー 植物観察シリーズ(24)	H29.6/4(日)
4) 第150回 フィールドセミナー 総合的学習時間における森林学習(39)	H29.7/3(月)
5) 第151回 フィールドセミナー 総合的学習時間における森林学習(40)ー技術職員と学ぶ森林作業ー	H29.7/4(火)
6) 第12回 哲学者 内山 節氏を迎えての「哲学の森」	H29.8/19(土)～8/20(日)
7) 公開講座「親子でふれあう牧場体験～赤ちゃんうし誕生観察～」	H29.9/16(土)～9/17(日)
8) 公開講座 第152回 フィールドセミナー 植物観察シリーズ(25)	H29.10/1(日)
9) 公開講座 第153回 フィールドセミナー 親子シリーズ(23)	H29.11/12(日)
10) 公開講座「かんじきを履いて冬の森を歩こう」	H30.2/18(日)
11) 公開講座 第154回 フィールドセミナー 親子シリーズ(24) (予定)	H30.3/25(日)

### センター開放的事業

1) ブルーベリー摘み取り園	H29.7/19(水)
2) ブルーベリー摘み取り園	H29.7/26(水)
3) ブルーベリー摘み取り園	H29.8/2(水)
4) 第17回 森の駅市場	H29.9/7(木)
5) 第18回 森の駅市場	H29.12/1(金)

## 岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

〒020-8550 盛岡市上田3丁目18-8 TEL:019(621)6234

E-mail:fsciu@iwate-u.ac.jp http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/~fsciu/

発行責任者／寒冷フィールドサイエンス教育研究センター長 澤口 勇雄  
編集責任者／寒冷フィールドサイエンス教育研究センター 山本 信次